

【政務活動報告書(県内)】

年月日	活 動 先			政務活動の内容	関連領収書 番号
	住所	活動先の名称	対応者		
H29.4.11～13	鳥取市	議会棟	県執行部	代表質問勉強会	4-1
H29.4.28	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	4-2
H29.5.2	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	5-1
H29.5.9	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	5-2
H29.5.10	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	5-2
H29.5.11	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	5-2
H29.5.16	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	5-3
H29.5.17	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	5-3
H29.5.18	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	5-3
H29.5.23	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	5-4
H29.5.26	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	5-5
H29.5.30	鳥取市	議会棟	県執行部	政務調査会	5-6
H29.6.6	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	6-1
H29.6.7	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	6-1
H29.6.27	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	6-3
H29.7.10	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	7-7
H29.7.11	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	7-7
H29.7.19	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	7-8
H29.7.20	琴浦町	琴浦大山警察署 林養魚場 他	警察署長他 林社長 他	会派視察(施設視察、意見交換)	3-7
H29.8.22	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	8-6
H29.9.4	鳥取市	議会棟	県執行部	政務調査会	9-1
H29.9.12	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	9-2
H29.11.1	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	10-4
H29.11.8	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	11-1
H29.11.16	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	11-2
H29.11.17	鳥取市	議会棟	県執行部	政務調査会	11-2
H29.11.22	鳥取市	議会棟	各種団体	団体要望聞き取り	12-1
H30.1.5	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	1-1
H30.1.24	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	1-3
H30.1.29～31	鳥取市	議会棟	県執行部	政務調査会	1-4
H30.2.16	鳥取市	議会棟	県執行部	執行部聞き取り	2-1

政務活動報告書

活動事項	今年中にすべての被害者の救出を！国民大集会 参加
活動年月日	平成29年4月23日(土)
場 所	東京都 シェーンバツハ・サポー
活動の相手方	北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 「北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会」に参加し、拉致問題早期解決を目指す機運を大いに高めることを目的とする。また、同問題解決が国民の最大関心事、総意であり、我々が拉致被害者救出をどれほど念願、希求しているかを全世界に示し、国際連携を強く訴える。</p> <p>【内容】 救う会会長である西岡教授の開会挨拶に始まり、飯塚家族会代表挨拶、安倍晋三内閣総理大臣、加藤拉致問題担当大臣、各政党代表挨拶等が行われた。家族会からも多数の方が参加され、早期解決を望む胸の内、切実な訴えを述べられた。改めて特定失踪者家族の紹介も行われ、最後に決議案が採択された。</p> <p>【結果（成果）等】 家族会の皆様の訴えからは、愛するご家族を奪われた悔しさ、無念さ、やり切れぬ思い、また解決されないまま時間が過ぎていくことへの焦燥感、無力感が痛いほど感じられた。拉致問題は北朝鮮による国家的犯罪である。国民の身体、生命を守ることが国家の役割であるから、拉致問題は日本国がその存在を賭して早期解決を図られねばならない。 本県は、米子市の松本京子さんが拉致被害者と認定されており、またそのほか3名の方も拉致の可能性が疑われている、当該県である。我々は県民としてさらに大きな声をあげて、拉致問題早期解決へ向けて国家的気運を盛り上げていく役割を担っている。 拉致問題解決への想いをさらに強固なものとした。議員として、早期解決へ向けて力を尽くしていきたい。</p>
関連領収書番号	3-10

政務活動報告書

活動事項	広島県立美術館視察
活動年月日	平成29年7月3日
場 所	広島県 広島県立美術館
活動の相手方	広島県立美術館 山本副館長 広島県立美術館 総務課 高浦主幹 広島県立美術館 横手総務企画監兼副園長
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】            広島県立美術館の運営状況等の調査</p> <p>【内容】            広島県立美術館の成り立ち及び指定管理者による運営状況の説明・            現地視察</p> <p>【結果（成果）等】            広島県立美術館は、昭和43年に開館し、平成20年度から指定管理者制度に移行している。平成29年からはイズミテクノ、広島緑地建設、広田造園の3社JVにて運営されている。            浅野長晟が造った庭園「縮景園」に隣接していることから、指定管理には庭園管理も含まれている。            財政規模の違いからそのまま落とし込むことは困難な面もあるかもしれないが、民間活力の導入等おおいに参考にすべき点があるように感じた。現在計画中の鳥取県立美術館建設の参考にしたいと思う。</p>
関連領収書番号	7-2, 7-3

政務活動報告書

活動事項	米子道付加車線検証区間の早期工事着手と4車化の早期整備の要望
活動年月日	平成29年7月4日～5日
場所	広島県 NEXCO 西日本中国支社・国土交通省中国地方整備局 東京都 衆参国会議員会館・国土交通省
活動の相手方	NEXCO 西日本中国支社 小橋支社長 国土交通省中国地方整備局 田宮道路調査官 石破衆議院議員・赤沢衆議院議員 青木参議院議員（秘書）・舞立参議院議員（秘書） 国土交通省 石川道路局長 青木道路局次長
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 米子道付加車線検証区間の早期工事着手と4車化の早期整備</p> <p>【内容】 関係機関及び地元選出国會議員に対する米子道付加車線検証区間の早期工事着手と4車化の早期整備要望</p> <p>【結果（成果）等】 今要望活動を経て米子道の付加車線検証区間が着工の運びとなった。しかしながら、米子道全面四車線化に向けてはまだまだ時間がかかりそうである。今後においても機を見た要望活動を行い道路行政における諸課題について解決を図って参りたい。</p>
関連領収書番号	7-2, 7-4, 7-5, 3-7

政務活動報告書

活動事項	ワンダーフェスティバル2018(夏)視察
活動年月日	平成29年7月30日
場 所	千葉県 幕張メッセ国際展示場
活動の相手方	株式会社海洋堂 宮脇社長
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 倉吉市の円形校舎を活用したフィギュアミュージアム構想の可能性を検証する</p> <p>【内容】 海洋堂関係者との面談、会場内視察</p> <p>【結果(成果)等】 本県においては株式会社海洋堂を中心に、倉吉市の円形校舎を活用したフィギュアミュージアムの設置が計画之中である。 「まんが王国鳥取」を標榜する本県ではあるが、現状においては過去の物となろうとしている。しかしながら、倉吉市には大手フィギュアメーカー グッドスマイルカンパニーの工場が立地するなど、「まんが王国鳥取」の成果も現存している。 今後こういった企業と地域が連携することによって、フィギュア文化の聖地としての地域活性化を図るべきであると考え。今回宮脇社長と面談し、またワンフェスに出展されているアマチュアディーラーの熱量を感じ、倉吉の可能性を実感した。今後においては円形校舎の活用に止どまることなく、フィギュア文化地域活性化の起爆剤とするよう研究したい。</p>
関連領収書番号	7-10, 7-11

政務活動報告書

活動事項	地方議員研究会セミナー参加
活動年月日	平成29年7月31日
場所	東京都 東京駅八重洲カンファレンスセンター
活動の相手方	樋渡 啓祐 元佐賀県武雄市長
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 地方議員研究会セミナーに参加し教育課題を解決方法を探る</p> <p>【内容】 講師 樋渡 啓祐 元佐賀県武雄市長 【地方議会から教育を変える】 ・教育は未来への投資 ・スマイル学習（武雄式反転授業） ・タブレットを一人一台持つことの効果 ・官民一体学校で何がおきたのか</p> <p>【結果（成果）等】 武雄市では樋渡元市長の手腕により様々な先進的な施策が実行された。今回は教育改革についての講演を伺った。樋渡氏の行政運営については賛否があるのだが、教育改革については大いに参考にすべきものであると感じた。特にタブレット端末を活用した授業や民間と連携した学力向上策は本県においても取り組むべき課題であると感じた。今後の本県教育行政に反映できるよう提言等を行いたい。</p>
関連領収書番号	7-11. 7-12

政務活動報告書

活動事項	東京本部・新橋アンテナショップ視察
活動年月日	平成29年8月1日
場 所	東京都 鳥取県東京本部・新橋アンテナショップ
活動の相手方	岡崎東京本部長
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 県立ハローワーク・アンテナショップの検証を行う</p> <p>【内容】 県立ハローワークの東京での展開および今後のアンテナショップの利活用について意見交換を行った。</p> <p>【結果（成果）等】 東京における県立ハローワークの窓口は現在東京事務所の中にあり利便性が良くないように感じた。また運営する所管が不明瞭であるように感じた。これは予想されたことではあったが、本部長と意見交換を行い、解決に向けた方向性を意思統一出来た。 またアンテナショップについても、ハローワークの設置のも含め、未活用部分を積極的に利用するなど、費用対効果を少しでもあげる努力をすべきである。</p>
関連領収書番号	7-11, 8-1, 8-2

政務活動報告書

活動事項	これからの医療とまちづくりシンポジウム 参加
活動年月日	平成29年9月16日
場 所	愛知県産業労働センターウインクあいち
活動の相手方	一般社団法人 MOA インターナショナル
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 西洋医療を補完する「統合医療」の地方での実例を伺う</p> <p>【内容】 地方自治体における統合医療の実情と今後の課題</p> <p>【結果（成果）等】 厚生労働省は「統合医療」を、「近代西洋医学を前提として、これに相補（補完）・代替療法や伝統医学等を組み合わせて更に QOL（Quality of Life：生活の質）を向上させる医療であり、医師主導で行うものであって、場合により多職種が協働して行うもの」と位置付けることとしている。 静岡県掛川市の松井市長、本県の南部町の坂本前町長の講演を聞き、地方社会においてこうした取り組みが、健康寿命を延ばす効果があるとの認識を得た。本県では南部町が先進的に実施しているが、こうした事例を参考に県下全域での導入を検討すべきである。</p>
関連領収書番号	9-3, 9-5, 9-6



# これからの医療とまちづくりシンポジウム

日時：平成 29 年 9 月 16 日（土）13：00～16：00

会場：愛知県産業労働センターウインクあいち（名古屋市中村区名駅 4-4-38）

## 開演 13：00

—————〈 オープニング 〉—————

—————〈 講 演 〉—————

「ふくしあ」の取り組みとまちづくり

松井 三郎（静岡県掛川市長）

\*

統合医療、社会モデルの実践

坂本 昭文（鳥取県南部町前町長）

\*

住み慣れたこのまちで暮らし続けるために—看護の立場から

川嶋 みどり（日本赤十字看護大学名誉教授）

\*

いま求められる「和合」の心～思いやりと慈しみのまちづくり～

川野 泰周（臨済宗建長寺派林香寺住職、

RESM 新横浜 睡眠・呼吸 メディカルケアクリニック副院長）

\*

統合医療の意義とMOA活動

鈴木 清志（一般財団法人MOA健康科学センター理事長）

—————〈 パネルディスカッション 〉—————

## 閉演 16：00

主催：一般社団法人MOAインターナショナル／一般財団法人MOA健康科学センター

後援：厚生労働省・消費者庁・文部科学省・農林水産省・

経済産業省・国土交通省・環境省・総務省・愛知県・名古屋市

## お問い合わせ

「これからの医療とまちづくり」シンポジウム窓口

MOAインターナショナル／〒108-0074 東京都港区高輪 4-8-9 TEL 03-5791-1115

<http://www.moainternational.or.jp>

政務活動報告書 ④

活動事項	今年中にすべての被害者の救出を！国民大集会 参加
活動年月日	平成29年9月17日(日)
場 所	東京都 シェーンパッハ・サボー
活動の相手方	拉致問題地方議会全国協議会 北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 「拉致問題地方議会全国協議会幹事会」及び「北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会」に参加し、拉致問題早期解決を目指す機運を大いに高めることを目的とする。また、同問題解決が国民の最大関心事、総意であり、我々が拉致被害者救出をどれほど念願、希求しているかを全世界に示し、国際連携を強く訴える。</p> <p>【内容】拉致問題地方議会全国協議会幹事会においては、各都道府県の幹事の皆様と意見交換を行った。 国民集会は櫻井よしこ氏の進行により、安倍晋三内閣総理大臣、加藤拉致問題担当大臣、各政党代表挨拶等が行われた。家族会からも多数の方が参加され、早期解決を望む胸の内、切実な訴えを述べられた。改めて特定失踪者家族の紹介も行われ、最後に決議案が採択された。</p> <p>【結果（成果）等】 各都道府県での取り組みを参考にし、今後の拉致議連の活動を推進してまいりたい。特に全議員の加入を積極的に働きかけたい。 拉致問題は日本国がその存在を賭して早期解決を図られねばならない。 本県は、米子市の松本京子さんが拉致被害者と認定されており、またそのほか3名の方も拉致の可能性が疑われている、当該県である。我々は県民としてさらに大きな声をあげて、拉致問題早期解決へ向けて国家的気運を盛り上げていく役割を担っている。 拉致問題解決への想いをさらに強固なものとした。いち議員としてはもちろん、議連の活動も活性化し早期解決へ向けて力を尽くしていきたい。</p>
関連領収書番号	9-4, 9-6, 3-10

政務活動報告書

活動事項	森林・林業・林産業促進議員連盟の先進地視察
活動年月日	平成30年3月27日～29日
場所	和歌山県 日高川町木質パウダーによる木質バイオマス利活用 ・和歌山県森林組合連合会 御坊共販所 ・きのくに中津荘(木質パウダー燃料ボイラー) 和歌山県 和歌山県林業試験場 低コスト簡易木材乾燥システム 三重県 三重県伊勢庁舎 低コスト造林推進事業
活動の相手方	日高川町役場企画政策課 西室長 (株)バイオマス・プロダクツ 篠宮社長 和歌山県木材利用部 井戸部長 三重県伊勢農林水産事務所 前田所長
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 先進事例を本県林業にフィードバックし活性化を図ること</p> <p>【内容】 1、木質パウダーの製造とそれを用いたバイオマスボイラー            2、農業用ビニールハウス等を用いた太陽熱木材乾燥システム            3、低密度植栽による林業の低コスト化</p> <p>【結果（成果）等】            1、製材時に生じるおが粉等を原料にして、燃焼効率の良い微細な木質パウダーを製造。温泉施設（町内3カ所）において重油等の代替燃料として利用されている。当該ボイラーが設置されている「きのくに中津荘」も視察。コストの問題はあるが木質バイオマスの新たな可能性を感じた。</p> <p>2、温暖な気候を活用した太陽熱利用木材乾燥の実用化を目指し、天然乾燥材より速い乾燥システムを開発。現在の木材市場においては「乾燥の質」が求められる。しかし天然乾燥はコストと時間がかかるため、急速に乾燥させたKD材に流れがちである。こうした安価で乾燥時間の短縮が可能なシステムは、気候の問題があるにせよ本県においても検証すべきであると感じた。</p> <p>3、低密度に植栽を行うことにより、植栽から育林までのトータルコストを抑制していた。本件県においても間伐にかかるコストの低減は大きな課題である。            低密度に植栽を行う事による材価の下落などのデメリットもあり、今すぐ早急に取り組むべきであるとは考えないが、コスト削減の考え方としては参考になった。</p>
関連領収書番号	3-5, 3-6, 3-9